



農業の歴史や文化が学べる 市民参加型まちづくり

旧岩崎久彌末廣農場別邸公園は、富里市で初の国登録有形文化財となった旧岩崎家末廣別邸があり、歴史や文化が学べる公園です。公園の敷地は平成24年に三菱地所株式会社から富里市に寄付されましたが、当時は竹藪で覆われた状態でした。かつての景色を取り戻すため、市民ボランティア団体などと協力し、竹の伐採・抜根、環境美化の一環として草花の植栽等の事業を行いました。



▲旧岩崎家末廣別邸



▲市民ボランティア団体による環境美化の様子

また、令和5年度には末廣別邸の主人であった岩崎久彌の逸話にちなんだ畑を復元し、地元農業者協力のもと、富里市の特産品であるにんじん、落花生などを栽培し、収穫体験を実施しています。

市民参加

地域の方との協働のまちづくり

地域の交流拠点

地域の方が何度も訪れることで公園に愛着がわく

観光拠点

富里のことを学ぶことができる観光拠点となる



◀収穫体験の様子



◀小学生によるヒマワリ苗定植の様子

市内小学生は草花の植付体験、収穫体験を通して、楽しみながら地元の歴史を学びます。